

令和元年 萩市議会 12月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	13	西 中 忍	12月9日午前
2	9	松 浦 俊 生	
3	3	瀧 口 治 昭	午後
4	4	松 浦 誠	
5	12	関 伸 久	
6	5	村 谷 幸 治	12月10日午前
7	1	浅 井 朗 太	
8	8	佐々木 公 惠	午後
9	14	長 岡 肇太郎	
10	18	宮 内 欣 二	
11	7	石 飛 孝 道	12月11日午前
12	6	五十嵐 仁 美	
13	2	小 林 富	午後
14	10	美 原 喜 大	

質問順位	1	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 新学習指導要領の完全実施に向けた準備は万全か	<p>1. 令和2年度から小学校の新学習指導要領が完全実施されますが、その中にプログラミング教育という特徴的な取り組みがあります。</p> <p>この新たな教育のねらいには、身近な生活でコンピューターが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くことや、プログラミング的思考を身に付けることなどがあるようです。</p> <p>しかし、指導する教員がコンピューターのプログラミングという特別な技能を身に付ける研修等を十分に行っているのかや、小学校にあるパソコンの性能や台数などがこの新たな取り組みに対応できているかなど、ソフト・ハード両面で心配する部分があります。</p> <p>そこで、そもそもプログラミング教育はどのように行われるのかということについてお尋ねします。</p> <p>また、新たに始まるプログラミング教育について、市内各小学校のソフト・ハード面の準備状況などがどうなっているかお尋ねします。</p>		
2. 市民の情報を優先した安全確保の仕組みができないか	<p>1. 萩市は、合併により約700k㎡という広大な面積と1000kmにも及ぶ市道を有することになりました。</p> <p>市としてもパトロールなどを実施し市域全体の危険箇所の把握に努め、優先順位を付けた上で改修工事等を行っています。</p> <p>しかし、危険箇所のすべてを市が独自で把握することは難しいことから、市民からの情報で危険箇所を把握することも多くあると思いますが、早期の対応が十分できていない状況だと思います。</p> <p>そこで、前もって予算措置を行い、年度の途中で市民の情報により把握した危険箇所を早期に改修するという仕組みができないかと思いますが、市としてどのように考えるかお尋ねします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
<p>3. 市民の移動手段をどう確保していくのか</p>	<p>1. 市内では多くの路線バスが運行され、市民の移動手段の一つとして利用されていますが、その路線の内、3路線について来年3月いっぱいまで廃止することが決定され、バス事業者から該当する地区で廃止する理由や経緯の説明を行うとともに、市から代替案の説明などが行われました。</p> <p>私も、2会場で話をお聞きしましたが、住民の皆様のバス廃止に対する不安な声や、代替案に対し「もっと使いやすいように出来ないか」や「運賃が安くできないか」などの意見があったり、地域の現状を踏まえた具体的な提案がでるなど、市として住民の意見を十分に聞いた上で作った代替案ではないように感じるとともに、住民の意見の通り、もっと使いやすい代替案を住民に示さなければいけないという感想を持ちました。</p> <p>そこでまず、木間地区の代替案を含め廃止される3路線の代替案がどのようなになっているかお尋ねします。</p> <p>また、そもそもこの3路線の廃止がいつ決定し、市としてどの程度の期間をかけ、住民の意見をお聞きした上で今回提案した代替案を決定したのかお尋ねします。</p> <p>さらに、今後、重要な移動手段となっている路線バスの維持やコミュニティバスの運行などを含め、移動手段の確保についてどのような展望を持っているかお尋ねします。</p>

質問順位	2	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の出生数と結婚相談所等の活動について	1. 平成30年の萩市の出生数について 2. 萩市結婚相談所の活動内容について 3. 萩市結婚相談所の近年の成婚数について 4. はぎ縁結び応援団制度について		
2. 萩市消防本部を含め3市による消防通信指令業務の共同運用参加について	1. 共同運用開始時期・センターの設置場所等について 2. 共同運用に伴うメリットについて 3. 共同運用に伴うデメリットについて		

質問順位	3	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市地域産業振興構想と市内事業者に対する関連について	<p>1. 萩市は昨年（平成30年）の萩市基本ビジョンの策定に基づき12月に萩市地域産業振興構想を制定、発表されましたが最後のページにこの構想の着実な推進を図るため市長を本部長とする「萩市産業戦略本部」において、総合的な進行管理を行います。と明記がしてあります。この本部は何人の、どのような委員により構成され、設置から今日まで何回の会議と検討が行われてきたのかお聞きします。</p> <p>そして、その成果はどのような形であらわれていますか。</p> <p>また、企業誘致による新たな産業の導入や、起業による事業の創出も大切な要件ですが、従来からある、萩市の産業を支えてきた地元事業者に対しては、どの様に考えておられるのか市長の考えをお聞きします。</p>		
2. 市内体育施設の管理状況と、備品の整備について	<p>1. 高齢者社会の進展の中ではありますが、スポーツの効用、効果は老若男女を問わず、広く知られ、実践されています。幼少期から青年は勿論のこと、老年になっても生涯スポーツは身体のみならず、心や認知症の予防にもその効果があると言われていています。昨年制定の萩市基本ビジョンにも「市民一人ひとりが輝くまちづくり」としてスポーツを通じて生き甲斐を持ち、心豊かに暮らすことのできるまちづくりに取り組みます。と明記されています。スポーツを行う為には体育施設を使うことが多く、その維持管理が必要となりますが、現在の利用者数と利用状況、清掃などの維持管理の実態をお聞きします。また、各種スポーツにおいて用具が必要となりますが、破損、劣化、などによる用具の補充、そして、新たな要望についてはどのように対処されているのかお聞きします。</p>		

質問順位	4	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. ワークーション (仕事と休暇)について	1. 市でワークーション誘致の取り組みをしてみては。		
2. 入院・通院の為の 宿泊施設について	1. 入院・通院の患者さんや、その家族の為の宿泊施設の整備について		

質問順位	5	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市民病院と都志見病院の経営統合の問題点について市長の所見を問う	<p>1. 先の全員協議会で市民病院と都志見病院の経営統合について説明を受けた。統合をしないという選択肢はなく、統合ありきで議論を進めていくと言う。</p> <p>今回の統合は市民病院が主体となり、都志見病院の固定資産を買い取り、その後の医療法人は清算するなどの対応が考えられるとの説明があった。</p> <p>まずこの経営統合を主導しているのはどこか。</p> <p>次に人口減少が加速的に進む萩市において、中核病院は果たして必要なのか。地域完結型の医療体制を構築するとあるが、現在の医療体制は地域完結型になっていないのか。</p> <p>萩保健医療圏は医師、看護師等の医療従事者の高齢化及び不足が深刻な問題となっているとあるが、果たして医療従事者は不足しているのか。逆に統合後は効率的な体制に移行するとあることから、人員削減（リストラ）が行われるのではないか。</p> <p>現時点の診療科目は両病院ともほぼ重複しており、統合効果は限られるのではないか。逆に重複しているからこそリストラの対象になるのではないか。</p> <p>医療スタッフの給与等の処遇は給与水準がいい方に合わせざるを得ない。統合後は今の約3倍もの医療従事者を抱えることになる。市民病院の経営状況も毎年赤字が続いているなか、税金負担が大きくなるのではないか。健全経営が展望できるのか。</p> <p>最後に中核病院となった場合、市民にとってのメリットは何なのか。一連の統合問題について、市長の所見を伺う。</p>		
2. 福栄地域の今後の公共交通のあり方について問う	<p>1. 萩市の周辺部を中心に路線バスの撤退が相次いでいる。須佐・田万川循環線、むつみ地域の吉部・御舟子線、そして木間地区における萩バスセンター・若宮神社線である。このバス路線撤退の主な要因は深刻な運転手不足にあると言う。ここ萩市においても深刻な少子高齢化が続いており、致し方のない事情と察する。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>こういった流れを受け、福栄地域では、次は同地域の路線バスが撤退するのではないかとの観測が住民間で浮上し、不安の声があがっている。</p> <p>現在、同地域では「ぐるっとバス」を運行しているが、これはあくまでも地域内の運行手段であり、市内のスーパーや病院に足を向けようとした場合、公共交通では路線バスに依存せざるを得ない。福栄地域は市内でも高齢化率が高く、免許返納後を視野に入れた公共交通のあり方を現時点で考えていくべきではないか。</p> <p>少子高齢化は続く。そして、いずれは福栄地域の路線バスの減便、撤退も現実のものになる可能性が高い。そこで参考にすべきは今回の木間地区における代替手段であろう。</p> <p>木間地区の路線バスは撤退となるが、その代替手段として民間のタクシー事業者が事前予約制で乗合タクシーを運行する計画である。これまで路線バスは土曜日にも運行されていたが、今後、土・日運休となる代わりに、これまでの終点のバスセンターのみならず、市内のスーパーや病院等にも立ち寄る計画と仄聞している。木間地区の住民からはできるだけ地区内を循環してから出発して欲しいとの要望が出ているが、代替案については好意的な印象である。福栄地域でもこういった取組みが先駆的にできないものか。</p> <p>今回の路線バス撤退の問題は唐突に出てきた問題ではなく、防長交通としては3～4年前から市に相談していたと言われている。今後の公共交通のあり方は先手先手の対応が求められることから、地元、防長交通とすぐにでも協議を進めて欲しい。</p>

質問順位	6	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 学校教育における I C T 導入について	1. 市内小中学校における I C T (コンピュータを使用した情報通信技術) 環境整備の状況について 2. 遠隔合同授業の取組みについて		
2. 道路の整備・維持管理について	1. 国道490号(山田～木間間) 改良事業の整備促進の取組みについて 2. 国道262号(明木角力場交差点～大屋交差点間) の歩道・路側帯の維持管理の要望について		

質問順位	7	質問者	浅井朗太 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の歳入財源である自主財源の増収への取組みについて。萩市活力のある地域産業をつくる条例の検証から。	<p>1. 先の9月議会で認定された、平成30年度決算の歳入は、自主財源・29.8%、依存財源・70.2%と、依然として財政における「3割自治」から抜け出せない状況です。これから、ますます人口減少などの要因から地方交付税の減額が考えられます。それ故に、自主財源の確保が必要ではないかと考えます。</p> <p>市長の市政運営の一丁目一番地である、市民ニーズに応える基本施策として定められたのが、萩市基本ビジョンであると思います。その理念を形あるものとするためには、財源の確保へむけて取り組むことは必然な事であります。</p> <p>そこで、自主財源の確保という視点で、特に萩市基本ビジョンの中で触れている「産業活力があふれるまちづくり」に特化し、市政の運営に最も重要視しなければならない市の歳入財源の1つである自主財源の確保・増収のための施策について、市長の見解をお尋ねする質問をいたします。</p> <p>まず、①萩市基本ビジョンの「産業活力があふれるまちづくり」では、地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生という項目に対して、どのような施策が展開されているのかをお尋ねします。②また、平成24年12月議会で条例化された「萩市活力のある地域産業をつくる条例」の第4条「市の役割」がどのように実行されているのかについてお尋ねします。つまり、地場産業・地場事業所の育成という観点から、市の発注事業、契約事業（ハード事業とソフト事業を含めて）、市との契約締結として、特に、市長就任以降の各年度での市内事業所と市外事業所の落札率及び件数は、それぞれどのような状況になっているのかをお尋ねします。</p>		
2. 福栄総合事務所の竣工後の旧福川小学校の活用について	<p>1. 現在、令和2年3月の完成を目指して建設工事の進む福栄コミュニティセンター。より利用しやすい施設として地域住民の期待も膨らんでいます。また、大板山たたら製鉄遺跡などの観光地、萩津和野観光ルートの中継地点でもあり、観光客へのおもてなしなどでも福栄コミュニティセン</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>ターは、今後ますます重要な役割を担い、果たしてくれることと期待されています。</p> <p>一方、福栄コミュニティセンターの完成は、この建設工事期間中に公民館として活用されていた旧福川小学校の今後の活用がどのような方針・計画となるのかが改めて問われることを意味します。旧福川小学校は、地域住民に愛された施設であり、いわゆるシビックプライドです。学校グラウンド及び福川グラウンド、福川体育館、道の駅・サン燦ひろばなどの施設と隣接しスポーツや各種イベント会場として現在も年間を通じて数多くの市民利用のある総合施設となっています。可能性として、市民利用・観光拠点・経由地である側面等さまざまな機能・活用方法が考えられます。萩市全域においても独自の特徴をもった施設として活用することも可能と考えられますが、今後の活用方針について、旧福川小学校施設に加え、前述の隣接する施設を含む総合的な活用方法について、市長のお考えをお尋ねいたします。</p>
3. AEDの設置場所について	<p>1. AED（自動体外式除細動器）の認知・普及が進んでいます。萩市内、公共民間合わせて167の施設に常設してあります（平成27年時点）。緊急時対応に一定の活用がされているところですが、しかし、公共の施設に設置されているものは、施設が閉館している時には利用することが叶いません。広域な萩市においては、住宅から公共施設などAED設置場所までの距離が遠い地域も多数あります。その様な地域においては、例えば公会堂や消防団器庫を設置場所とすることでより24時間使用可能とすることもできると考えられます。少しでも多くの市民の命を救うためにも、24時間365日市民がアクセス可能な場所への設置場所の変更・新設促進について、導入手法も含めて検討をされないかをお尋ねいたします。</p>
4. イージス・アショア配備計画 萩市独自の調査について	<p>1. 再調査が概ね完了する時期に来ております。おそらく再調査結果についての説明がいずれあるものと考えられます。結果次第というところもあろうかと思いますが、先般市長が発言されました、「萩市独自の調査」の調査手法等の検討についての進展をお尋ねいたします。</p>

質問順位	8	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 障がい者の災害対策について	<p>1. 災害時において透析患者が安心して透析治療を受けられるか。</p> <p>2. 災害を想定した透析施設の現状と課題は。</p> <p>3. 福祉避難所の設置と運営体制の整備について</p> <p>4. 避難所における非常食・備蓄品について</p> <p>5. 高齢者や聴覚障がい者に要約筆記でコミュニケーションを。</p>		
2. 医療通訳システム構築について	<p>1. 在住外国人数と市内医療機関への受診数は。</p> <p>2. 外国人受診時の対応の現状は。</p> <p>3. 医療通訳の現状は。</p> <p>4. 医療通訳システム構築に向けて市の取り組み。</p>		

質問順位	9	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 離島地域における 経済環境整備につ いて	1. 有人国境離島地域における輸送コスト等の支援について 2. 移入に対する対象品目の拡大について		

質問順位	10	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. バス路線の廃止と その対応について	<p>1. 住民の要望にどう応えるか。 むつみの「一日に何回来るか」「病院に行く便を確保してほしい」「むつみ以外の人はどうやって来るのか」。 木間「自宅近くまで来てほしい」「これが一步。地元とさらに協議してほしい」「人数超えたらどうするか」。 須佐・田万川の「須佐・田万川間の連絡を確保できるか」「便数が少なくなると困る」「萩直行ない」「スクールバスの混乗は可能か」。 共通して出てきた「土日祝日の運送がないと困る」「盆正月に帰省する人はどうするか」「バス料金を安くしてほしい」「人数を超えたらどうするか」。</p> <p>2. 自家用有償運送実施への課題は何か。</p> <p>3. 地域おこし協力隊員の活用を考えるとどうか。</p> <p>4. 互助による輸送推進と環境整備を考えるとどうか。</p>		
2. 地域振興、地域活性化のための具体的方策について	<p>1. 地域に収入源を確保して、地域振興の財源にする取組みを考えるとどうか。</p> <p>2. 地域振興の一番のカギは人。人材育成を積極的に推進する考えはないか。</p>		
3. イージス・アショア迎撃ミサイル基地の自衛隊むつみ演習場への配備計画について	<p>1. 市の検証は始まっているか。</p> <p>2. 防衛省が、イージス・アショアを構成するレーダー（LMS SR）の取得契約を締結したことについて、市長はどんな見解を持っているか。</p>		

質問順位	11	質問者	石飛孝道議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 国内外からの観光客を増やすための取り組みについて	1. 利便性の高い交通アクセスの取り組みについて 2. インバウンド対策の取り組みについて		
2. 萩市が取り組んでいる緊急通報システムについて	1. 高齢者の方が住み慣れた地域で、安心・安全に暮らすための取り組みについて		

質問順位	1 2	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩保健医療圏の中核を担う病院の形成について	<p>1. 2つの病院のこれまでの病院事業をどのように分析して、統合の検討をするのか。</p> <p>2. 統合の検討を萩圏域の他の医療機関と協議したのか。</p> <p>3. 萩市民病院の経営改善はどうなるのか。</p> <p>4. 統合すれば職員が3倍になり、経営形態の見直しが必要になるが、どのように考えているのか。</p> <p>5. 統合した病院には、地域全体のニーズを見極めた医療を提供してもらいたいが、どのような病院をイメージしているのか。</p>		
2. 高齢者緊急通システムについて	<p>1. 緊急通報システムとは、どのようなものか。</p> <p>2. 現在、市内でどのくらい普及しているのか。</p> <p>3. 外出時など携帯できるのか。</p> <p>4. 高齢でも、健康に自信のある人への普及が必要ではないのか。</p> <p>5. 高齢でなくても希望すれば利用できるのか。</p>		
3. イージス・アショア配備について	<p>1. ポーランドの基地近くの住民代表が、「決定してからでは遅すぎる。基地を建てようとする人たちからだけではなく、多くの専門家に検証してもらうべきだった」と言っているが、市でできませんか。</p> <p>2. ポーランドへの設置が、市の発展を阻害する要因になっているそうです。同じ訪問をするなら、ポーランドにして、住民の声を聞いてきてはどうですか。</p> <p>3. 配備反対の請願や陳情を採択する動きが市町村議会で広がっているのを受け、秋田の佐竹知事は、新屋への配備は非常に難しいのではないかと河野大臣にはしっかり誠意をつくってもらいたいと言っています。萩は意思を表明しなくていいのですか。</p>		

質問順位	13	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市行財政改革実施計画について	<p>1. 令和元年9月に策定された萩市行財政改革実施計画は、令和元年度から令和5年度までの5カ年計画となっております。</p> <p>これまで行財政改革については、定員適正化計画の未達や部・課数の増加や人件費について質問をしてきました。</p> <p>今般、定められた本計画の内容と市政運営の方向性について伺いたします。</p> <p>(1) 行政サービスの適正化における契約の見直しについて、市民、事業者、関係団体および萩市が協働して本市の産業振興に取り組むことを決意した「萩市活力のある地域産業をつくる条例」をどのように守っていくかについて伺いたします。</p> <p>現在、事業者などを取り巻く環境は、本条例制定時よりも厳しく、更に、事業承継や人手不足などの問題も生じています。</p> <p>本条例は、地産地消などを推進して地域産業への振興、そして、事業者の地域社会への貢献の状況、市の施策への協力の状況等に配慮して市内事業者の受注機会の確保や市産品等の活用を図ることなどが明記されていますが、今後の方針をお伺いたします。</p> <p>(2) 適切な契約方法の見直しを掲げた「随意契約ガイドライン(仮称)」の策定が予定されていますが、現在、随意契約の一部として実施されているプロポーザル(公募)について伺いたします。</p> <p>プロポーザルにはさまざまな企画・提案を受けられるというメリットがある一方、事業者側には負担も多いのが現状であり、一定の規制や運用基準が必要だと考えています。</p> <p>上記を踏まえたプロポーザルおよび随意契約ガイドライン(仮称)について伺いたします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>2. 文化財を中心とした施設活用の促進を</p>	<p>1. 萩市はこれまで歴史や文化、そして、自然などの保全に尽力してきました。これらは地域における資産として観光等に大きく寄与しています。今後は、インバウンドなど幅広い観光客誘致にも大きく期待できる場所だと感じています。</p> <p>現在、国および他自治体においては、歴史的建造物、文化施設や公的空間等をイベント等の会場として活用（ユニークベニュー）が実践されており、萩市においても保全だけでなく、多くの文化財資産等の活用に向けた取り組みの必要性を感じています。</p> <p>(1) 文化財施設等の活用を促進するために他自治体での活用をモデルとした積極的活用を市内外へ広く周知し、会議やレセプションを含むイベント活用（MICE※ Meeting Incentive tour Convention Event の略称）として利用を促す取り組みが必要だと思いますが、今後の方針についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 文化財等の施設活用にあたっては、各施設の条例上での飲食や利用時間帯など制限見直しを図るべきだと考えています。</p> <p>実際の利用希望者が活用を断念した事例をもとに今後、文化財施設等の利活用に向けた方針をお伺いいたします。</p>

質問順位	14	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 公共交通網形成計画について	<p>1. 市長の肝入りの計画と聞く。</p> <p>(1) 3路線廃止の計画を事前に説明された。何故形成計画と一緒に発表されなかったか。市民は今後どうなるのか不安である。</p> <p>(2) この形成計画は、市が主体的に考えていますか。</p> <p>(3) 形成計画は、結果的に不便になるものではないですか。市長の肝入りの政策になっていますか。</p>		
2. 藩校明倫館内の体育館について	<p>1. 一方的に決めた藩校明倫館復元事業の中止から</p> <p>(1) 体育館の利用の方針と必要性について</p> <p>(2) 中心部のみの整備でなく地域への配慮を。</p>		
3. はぎビズについて	<p>1. 相談を受けるのみではなく、主体的・積極的に講座やイノベーションスクール等を開設していく考えはありませんか。活用をどのように考えられていますか。</p>		
4. 新規福祉事業への取り組みについて	<p>1. 国は、本年度、新規検討として、一般介護予防事業の推進方策検討の中で、介護予防の取り組みを機能強化するため「通いの場」の充実に医療専門職の関与を促進し、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施していく計画を立てつつある。これを受け、萩市として新年度へ向け、どのような取り組みが考えられますか。方向性を聞く。(シルバー産業新聞8月10日「これからの介護保険205」より)</p>		
5. 市道等の管理について	<p>1. 広域農道(梅の木～谷迫)の草刈り・伐採について</p> <p>2. 直営における(須佐地区)今後の管理について</p>		
6. 萩保健医療圏の中核的病院のための統合について	<p>1. 子や孫に禍根を残さないというのが、これまで市長が言われてきたことでもあります。この統合は、明倫学舎よりもっと大きな問題となります。これまで言ってきていることとの整合性は取れますか。本当に大丈夫ですか。立ち止まって考える必要はありませんか。</p>		